年間授業計画　新様式例

高等学校　令和８年度　　教科　　家庭　　科目　保育基礎

教　科：　家庭　　科　目：　保育基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第３学年

教科担当者：

使用教科書：（　教育図書　家庭706 保育基礎　ようこそ，ともに育ち合う保育の世界へ　）

教科　家庭　　の目標：

【知識及び技能】生活を主体的に営むために必要な基本的知識を理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から課題を設定し、解決の見通しをもって計画を立てることができる。

【学びに向かう力、人間性等】課題に対して問題点・解決策を考え、必要に応じて自分で調べ他人と協力して解決しようとすることができる。

科目　保育基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特性，生活と保育に関する知識を総合的に身につける。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ，その解決をめざして思考を深め，適切に判断し，工夫し創造する能力を身につける。	子どもの発達や保育への関心を持ち，意欲的に学習に取り組み，子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	保育の意義 1　保育とは 2　保育の意義 保育の方法 1　保育者の役割とは	・保育の意義と重要性について，保育が人間形成にどのようにかかわるかを考えさせる。 ・保育者にはどのような資質が求められるか，またそれを身につけるにはどのようにしたらよいかなど，保育者観についての考察を深めさせる。	【知識・技能】保育者の役割を理解しているか。 【思考・判断・表現】保育者としての資質や能力を身につけるにはどのような点に気をつけていけばよいか、考えを深め、表現できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】子どもにかかわる職業について関心をもち、必要な情報を収集・整理しようとしているか。	○	○	○	5
	保育の環境 1　家庭での保育 2　幼児教育・保育の場 3　子どもが育つ環境の変化と課題	・家庭保育の現状や，幼児教育・保育の場の保育環境の特徴や役割を理解させる。 ・子どもを取り巻く社会環境の変化や今後の保育の課題について理解し，子どもの健やかな発達のために適切な保育環境について考察させる。	【知識・技能】子どもを取り巻く環境が子どもの発達に大きな影響を与えることを理解しているか。 【思考・判断・表現】段階ごとの発達課題に応じて，接し方・援助の仕方・適切な保育環境整備について考えを深めているか。 【主体的に学習に取り組む態度】発達時期の特性を考慮した保育の工夫の必要性を理解し、プリントがまとめられているか。	○	○	○	8
	子どもの発達の特性 1　発達と保育 2　発達の共通性と個別性 3　発達と環境	・乳幼児期は人の発育・発達において大切な時期であり，共通性や個別性といった特性があることを理解する。	【知識・技能】乳幼児の身体的特徴と生理的特徴及びその変化に関する知識を身につけているか。 【思考・判断・表現】乳幼児期の発育・発達の段階と働きかけについて具体的に考えられるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 胎児の生育環境である母体に対する関心と課	○	○	○	8
	乳幼児の発育と発達 1　乳幼児の発育 2　乳幼児期の生理的特徴 3　乳幼児期の発達の特性	・乳幼児期の発育の特性及び乳幼児期の生理的特徴理解させる。 ・乳児期・幼児期における感覚・運動機能、情緒、認知機能、言語、社会性の発達の特性について理解させる。 ・愛着関係の形成過程を学び、その重要性を理解させる。 ・対人関係と社会性の発達について考えさせる。	【知識・技能】発達の各側面における過程を理解しているか。 ・情緒や社会性など心の発達に、親や保育者との愛着形成が重要であることを理解しているか。 【思考・判断・表現】 ・発達の過程で子どもができるようになることを，月齢や年齢に応じて挙げることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】子どもの発達や保育者のかかわりの特徴について興味を	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
2学期	子どもの健康と生活 1　子どもの養護 2　子どもの食事 3　子どもの衣服	・子どもを安全に養護するためのポイントや、注意点について理解させる。 ・子どもの栄養と食生活の特徴を知り，必要なエネルギーと栄養素について理解させる。 ・乳幼児に適した被服を知り，適切な衣服の選択ができるようにさ	【知識・技能】子どもの発達段階に応じた養護や生活援助のための技術を身につけているか。 【思考・判断・表現】乳幼児期の食生活や衣生活の特徴について理解し、健康な生活のためにどうすべきか、自分の考えをまとめて表現できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】子どもの健	○	○	○	10
	子どもの健康と安全 1　子どもの病気の特徴 2　子どもの主な病気 3　病気の予防 4　子どもの安全 5　成長と遊びの中の危険 6　応急処置と救急用品	・子ども特有の病気について知り、観察や予防接種の大切さを理解させる。 ・応急処置や社会のサポートについて理解させる。 ・生活に潜む危険について理解させ、家庭や保育施設など身近な場所の危険についても考えさせる。	【知識・技能】子どもの病気の特徴を知り、適切な看護の方法を理解しているか。 ・家庭など、子どもの生活のなかで起こりうる事故の特徴を知り、適切な応急処置の方法を理解しているか。 【思考・判断・表現】子どもを危険から守るための具体的な方法を考察することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】子どもの生活のしやすさや安全性について考慮し、工夫することができるか。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
3学期	子どもと遊び 子どもの表現活動	・子どもの文化やそれを支える場が、子どもの健康で豊かな生活の実現のために果たす役割や意義を理解させる。 ・子どもの健やかな発達における遊びの重要性や意義を、おもちゃづくりなどの活動を通じて理解させる。	【知識・技能】子どもの健やかな発達が遊びによってもたらされることを理解しているか。 【思考・判断・表現】おもちゃ作りなどの活動を通し、子どもの遊びの特徴や、保育者としての適切なかかわり方を捉え、子どもが楽しく安全に遊ぶことができるように工夫することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】現代の子どもの遊びを取り巻く現状や課題に関心を持	○	○	○	14
	課題学習	・各自の研究テーマを設定させ、学習成果をレポート等にまとめ、発表させる。	現在の保育をめぐる問題を意識し、保育を学ぶ意義を理解しているか。 実習レポート 提出物	○	○	○	10
							合計 70